



2025.11.
大津市立真野幼稚園

まのっこ作品展が始まります。ひよこ組の子どもたちの作品は、いつも遊んでいるもの、その子にとってのお気に入りをご紹介します。ぜひ、子どもの遊びの様子を想像しながら、子どもたちに尋ねながら楽しんでください。

☆平面作品☆

クレパスや絵の具を使って、思いのままに表現することを楽しんできました。色が付くこと、広がっていくおもしろさを感じる遊びから、今では、お話の世界や経験したことをイメージしてかいてみる姿が見られます。作品一つ一つに、その子なりの思いが表現されています。ぜひ、子どもたちの思いを聞きながら、一緒に楽しんでください。



☆立体作品☆

〔空き箱遊び〕

空き箱、紙コップ、ロール芯などを組み合わせて動物や乗り物、楽器など様々なものに見立てて遊んできました。初めは積み木遊びのように重ねたり、並べたりしてできた形を見立てることを楽しんできた子どもたちでした。遊んでいくうちに、「ここを落ちないようにくっつけてしっぽにしたい」「顔もつけたい」と、想像を膨らませ、テープでくっつけてつくことを楽しむようになりました。自分でつくった楽器演奏を披露するためにソフト積み木でステージをつくり、お客さんを呼んだり、友達と一緒にネコのお散歩に出掛けたりするなど、ごっこ遊びに発展してきました。



〔紙粘土遊び〕

紙粘土遊びを楽しんできた子どもたち。揉んだり伸ばしたりして感触そのものを楽しんだり、できあがった形を動物や食べ物に見立てて楽しんでいます。どんぐりや木の枝などの自然物をデコレーションして粘土のケーキが完成しました。



〔木材遊び〕

様々な形の木に触れて積み木遊びを楽しんでいます。「よいにおいがする」「コンコンって音がする」と、木に親しみを感じながら、積み重ねたり組み合わせたりした形を見立てたりすることを楽しんでいます。

